



# 碧南ロータリークラブ週報

第2993回例会 令和3年10月13日(水)

- 会長 新美 雅浩
- 幹事 栗津 康之
- 会場監督(SAA) 岡本 耕也

2021-2022 年度 国際ロータリーのテーマ

- 例会日 毎週水曜日 12:30
- 例会場 碧南商工会議所ホール
- 事務局 碧南商工会議所内 〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町 90
- TEL<0566>41-1100 FAX<0566>48-1100
- ホームページ: <http://www.hekinan-rc.jp>
- E-mail: [info@hekinan-rc.jp](mailto:info@hekinan-rc.jp)



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

- 会報委員 石川鋼勇・鈴木 洋・藤関孝典・小林 尚

## ●本日のお弁当

大正館

## ●本日のお客様

碧南市教育部スポーツ課 課長 加藤和彦様  
 // 係長 鈴木章宏様

## 会 長 挨 拶

改めまして、皆さん、こんにちは。本日の例会はガバナー公式訪問が終わった後ということで、インフォーマルミーティングを開催して、皆様と親睦を深めるという計画を当初はしていましたが、新型コロナウイルス感染のリスクのある酒席はしばらくの間控えた方が良くという判断をさせていただきました。



新美雅浩会長

引き続き感染対策をしながら、本年度のクラブ運営をして参りますので、何卒ご理解ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

さて、先週の例会ではロータリー奉仕デーについてのお話をさせていただきました。IM 実行委員会から今月の24日に高浜RCと合同事業を行うというお話をさせていただいたところでございますけれども、先週の土曜日に福岡県、長崎県、佐賀県を取り巻く第2700地区でロータリー奉仕デーが開催されまして、その取り組み状況を紹介するセミナーのライブ配信がございましたので、そのご報告をさせていただきたいと思っております。

これは元々、今年で8回目となる「宗像国際環境会議」というのが福岡県宗像市で開催されておりまして、そこに第2700地区が参加をされまして、奉仕事業の活動内容を発表する場を企画されたものでございます。宗像国際環境会議には大手企業が協賛されておりまして、ここ数年の異常気象による地元地域の被害を地球温暖化の影響と捉えまして、地域住民と将来に向けて具体的に何をどのように取り組めば良いかという議論を重ねられてきた会議とい

うご説明がございました。基調講演の中では、九州電力からカーボンニュートラルへの取り組みをはじめ、九州大学大学院の准教授の方が今注目されているもののご説明がございました。それは「ブルーカーボン」というものでございまして、海洋生態系に隔離・貯留される炭素のことで、これについての色々な研究のご説明がございまして、福岡県の沿岸でブルーカーボンが征服してきていて、自然の再生活動の研究が年々続けられているというような発表がございました。

その後第 2700 地区のロータリー奉仕デーの取り組みのご紹介がされたんですけども、第 2760 地区と違う点がございまして、地区の社会奉仕委員会が指導をして、地区が主体となって 7 グループに分けられたクラブに対して、それぞれで事業内容を検討して発表してもらおうといった取り組みをされておられました。7 グループが色々な活動をされておられまして、その内の 4 グループが海岸の清掃活動をされておられました。今回はそれぞれの地域の実状に合わせて独立した活動を行っていくというのが、ロータリークラブの活動というふうには理解しておりますけれども、今後は地区を挙げて団体奉仕活動を行うといった傾向や流れが生まれつつございます。加えて、色々と提案された事業がロータリークラブという団体に取り組むべき奉仕活動なのかどうかということで、様々な議論がされるのではないかと感じました。第 2760 地区においても、地区や分区単位でまとまった団体奉仕活動を行うという公共イメージ向上を意識した取り組みが加わってくることが予想されますし、クラブとしてはそういったことに注視していく必要があるのかなあと感じた次第でございます。

さて、本日の卓話でございますけれども、予定を変えての昼の例会になりましたので、発表していただく岡島君と貝田君には急遽の事情にも関わらず引き受けていただきましたので、どんなお話をされるか大いに期待を申し上げまして、本日の会長挨拶とさせていただきます。

本日もどうぞよろしくお願い致します。

## 幹 事 報 告

幹事報告をさせていただきます。

- ・ 第 4 回理事会報告につきましては、幹事報告書の通りでございます。
- ・ 2020-21 年度ガバナー事務所より「直前ガバナー事務所閉鎖のお知らせ」が届いております。
- ・ 先程、会長からお話もございました通り、ガバナー公式訪問を終えまして、一区切りついたお礼として、会長のご配慮により手土産を配布させていただきました。本来ならば、インフォーマルミーティングで皆様へのお礼と後半戦頑張ろうということになる訳ですけども、コロナ禍におきまして、それも叶いませんでしたので、1 つの気持ちとしてご笑納いただければと思います。
- ・ 本日、赤い羽根共同募金の募金箱を回させていただきますので、ご協力をお願い致します。



栗津康之幹事

## 委員会報告

### <出席奨励ニコボックス委員会>

総会員数 65 名 (内出席免除者 13 名の内出席者 12 名) 出席者 54 名	
出席対象者 54/64 名	出席率 84.38%
欠席者 11 名 (病欠者 1 名)	

### <ニコボックス>

- 鈴木 並生君 金婚のお祝いの花、ありがとうございました。
- 林 俊行君 過日、小生の家内が大竹密貴さんにお世話になりました。お陰で夫婦間の会話が生まれました。ありがとうございました。
- 貝田 隆彦君 あと3日で30才になる娘が作ってくれたパワポをたずさえて卓話にのぞみます。

## 卓話

### 「コロナ禍における食品業界の状況について」

会員 岡島晋一君



岡島晋一君

失礼致します。メンバーの岡島でございます。今回、私も皆さんも大好きなインフォーマルミーティングがなくなってしまう原因のコロナについて、例会で触れさせていただきたいなと思っていたものですから、その企画を盛り込ませていただくということで、私の属する食品業界関連を含めた今の状況はどうかというところでございますが、新聞紙上でも出ている内容等もあると思いますので、本丸としては貝田さんのお話の方かなと思っております。次週は山中先生から「開業医からみた新型コロナウイルス感染症」ということで、非常に勉強になるお話をさせていただくこととなりますので、そちらもご期待をさせていただいて、皆さん、来週ご出席を賜りたいと思いますので、よろしくお願い申し上げます。

私の属する食品業界での昨年2月から始まった新型コロナウイルスの蔓延による影響は甚大なものでありました。業界の中では旅行、観光業と並んで売り上げ大幅減となった業界といえるでしょう。ただ一口に食品業界と言ってもコロナ禍での影響を大幅に受けたところとそうでなかったところもあるので、その傾向に触れさせて頂きたいと思います。

昨年の日本のGDPは4.2%減(2019年比)となりますが、食品業界と呼ばれるところでは、2.3%減となりました。(農水省速報値データによる)GDPの数値ほど減少していないように見えます。食品の中でも昨年のコロナ蔓延当初は、外食産業は軒並み大幅減となりましたが、スーパーマーケットなどの量販店は保存食品を始め、買い込み需要があり売り上げが

前年比 14%ほどの大幅な伸びを示しました。一方百貨店は 25.4%もの大幅減となりました。スーパー向けの商品を多く展開していた事業所はコロナ禍といえども、堅調な数字で推移しました。一方で外食産業向け商品を多く展開しているメーカーは 20~30%以上の売り上げダウンに見舞われ、操業停止等を行わざるを得ませんでした。この状況は緊急事態宣言が発出される度に、繰り返されるものでした。外食関連をメインにしている業者はこの 9 月まで同じような苦境が続きました。卸問屋は約 30~40%減等、関連の業界にも多大な影響が出ております。この傾向は全世界で起きた傾向でしたので、輸出でしのぐ事もままなりませんでした。

今年になってからワクチン接種が進んだ欧米と中国がいち早く持ち直しはじめ、海外からのオーダーが入り始めました。ただ海上輸送用のコンテナが不足し、オーダーキャンセルが頻発する事態にも発展しました。最近は大分改善されましたが、海上輸送の運賃は上昇しており、頭が痛い状況になってきています。また先進国を中心に一気に国内での人の動きが活発化したため、モノの動きが未だかつてなく活発化しており、原料の大豆、小麦等の価格が大幅に上昇しております。今年 4 月から大豆が 20%ほど、小麦も 9 月から 19%値上がりしており、食用油、マヨネーズ等の値上げに至っております。

今後のコロナ禍から徐々に落ち着く状況が見込める事になった暁の光景は決して明るいものばかりではなく、世界的に原料の取り合いがおき、ひいては価格上昇につながる事になるのではないかと、業界関係では危惧している状況です。コロナが引き起こした影響はまだしばらく続くと言わざるを得ません。ですが、何とか頑張っていきたいと思っておりますので、皆様のご理解と応援の程、よろしくお願い申し上げます。

どうもありがとうございました。

## 「コロナ禍でこそ出来た 資源ごみ立ち番の廃止 ~令和 2 年度浜尾区長 貝田隆彦」

会員 貝田隆彦君



貝田隆彦君

すみません。慣れないもので。スピーカーとして横綱級の岡島さんからご期待いただきましたこと、ありがとうございます。早速、卓話に入らせていただきます。

月に 1 回「たんぼぼニュース」にお金を出して私の記事を掲載していただいております、これは令和 3 年 10 月 8 日の記事になります。内容は「10 月の第 2 日曜は、地元の氏神様のお祭りで、子供の頃から太鼓を叩いて練り歩き、両親や家族に披露するのが当たり前だと 50 年近く過ごしてきましたが、ここ 2 年はそれが当たり前では無くなりました。」というもので、コロナ禍の影響のことを少し書かせていただきました。令和 3 年 5 月 14 日には「コロナ禍であらゆる行事が中止になり、それに従い、役員の為の飲食を伴う懇親会も中止となりました。そこで、それらの予算を区民館等の修繕費や資源ごみ立ち番の謝礼金に補充する事が出来ました。コロナ禍でも内部を見直す時間的な余裕が出来たり、懇親会ありきの役員会合を考え

直すチャンスと捉えれば、悪い事ばかりではないと思います。」と書かせていただきました。

実際にどのようにしてごみ当番廃止に至ったかをご説明致します。これは町内会への勧誘促進のチラシなんですけど、そこに「私たちは阪神淡路大震災や東日本大震災などの経験や報道から、普段の近所づきあいの積み重ねが非常時の心強い支えになることを学びました。」と書いてありまして、後世の為にも、一軒でも多くの方に町内会に入ってもらうように区長は努力しなければならないということの色んな方から言われてきました。私が区長の時の浜尾区の加入率は70%強でした。実際に町内会に勧誘するに当たって、心苦しいことがありまして、それは資源ごみの立ち番をお願いしなければならないということです。そういった中で、「お金を取る上に体まで取られるのか!?!」、「町内会に入らなくても、燃やすことの出来るゴミ袋は年間80枚もらえるし、資源ごみだってスーパーとかで捨てられるから大丈夫!!」というような声がありました。

浜尾区の資源ごみ立ち当番のやり方は、年度当初の4月に5月～翌年4月までの当番表を全世帯に配ります。この当番表自体は区長の下にいる部長さんたちの仕事でして、区長は一切関わりません。区長が関わるのは各ステーションに1人ずつ置くことになっているごみ分別指導員の選任で、前年度の区長が年度末に市に届け出なければなりません。浜尾区では現区長は自身の世帯の年1回の立ち当番以外はあまり関わりません。ごみ分別指導員はシルバー人材センターに依頼することが多くて、浜尾区でも3箇所の内、2箇所はシルバー人材センターに依頼しております。

資源ごみ立ち当番に関しての意見として、

- ・町内会に入っているという所属への安心感
- ・立ち番は年1回のことだし、隣近所との小さなコミュニティの場になっている
- ・ボランティアになる

というのがプラスの意見で、

- ・1人暮らしの老人世帯では、別世帯の娘さんが会社を休んで代わりに立ち番に従事
- ・子育て世帯では、子供を学校に送り出す為に親に泊まりにきてもらったり…

というマイナスの意見がありました。

そうこうしている内に夏頃になったんですが、昨年8月の資源ごみ立ち当番に10名以上いる事実に「密」だと感じました。様々な家庭（乳幼児、共働き、老夫婦、1人暮らしの家庭）から立ち番廃止の声が上がっている現実があり、シルバー人材センターに相談してみましたが、「足りないくらいなので、逆に募集してシルバー人材センターに登録してほしい。」と言われました。これはあかんということで、一念発起をして、謝礼金を付けて従事者の募集をかけたところ、数名の方から応募をいただき、最低人数が揃ったので、年度の途中の11月より区民全世帯の当番制から、専任者雇用制に移行することが出来ました。勇気を出して応募していただいた方々のおかげで、全区民を年1回の立ち当番の義務から解放することが出来まして、今も続けております。

このことを令和3年4月9日のたんぽぽニュースに書いたところ、各地区で立ち番制度廃止が決まったということが環境課から出ました。我が浜尾区が先駆けになって、来年度より碧南市全域で立ち番制度が廃止になる予定のようなんですけど、最新の情報ですと、どうやら

人数の集まりが悪いらしいので、ロータリークラブの皆さんがこのことを認識していただき、少しでも町内会に働きかけ等をしていただくと、スムーズに進むのではないかと私は思っております。

以上です。ありがとうございました。

### 次回例会案内

令和3年10月27日（水）

卓話「65年目の碧南青年会議所」

碧南青年会議所 2021年度理事長 杉浦晴太郎氏